

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4110311331		
法人名	医療法人社団如-water		
事業所名	グループホーム「かがやきの里」とどろき		
所在地	佐賀県鳥栖市轟木町1574		
自己評価作成日	令和2年2月9日	評価結果市町村受理日	令和2年5月20日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 佐賀県社会福祉士会		
所在地	佐賀県佐賀市八戸溝一丁目15番3号		
訪問調査日	令和2年3月3日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

医療機関に隣接した立地で、入居者の急変時には迅速に対応できる。人工透析の必要な方も受け入れている。介護員等の経管栄養や痰吸引の施設登録を行い、医療度の高い方の入居も可能である。在総診で医師・看護師の訪問があり連携がとれているので、発熱等でも迅速に対応することができる。「看取り」を行い最期まで人としての尊厳を守りながら、家族、スタッフに囲まれながら終末期を過ごせるようにしている。玄関の施錠は夜間のみで、施錠による身体拘束ゼロを実現している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

在宅総合診療における医師の訪問や看護師のスタッフを配置、看取りの対応を行うなど、入居者の医療的ニーズに対応できる体制がつけられている。また、普段より入居者の状態には細やかにとらえており、感染症対策はもちろん、皮膚の保湿や自立した排泄など、積極的に取り組み、一人ひとりの入居者の状況に応じた生活支援を提供している。また、スタッフも入れ替わりは少なく、連携も図れており、入居者と馴染みの関係のなか、笑い声の絶えない生活環境をつくり出している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) <input type="radio"/>	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) <input type="radio"/>
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) <input type="radio"/>	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) <input type="radio"/>
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) <input type="radio"/>	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) <input type="radio"/>
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) <input type="radio"/>	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) <input type="radio"/>
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) <input type="radio"/>	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う <input type="radio"/>
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) <input type="radio"/>	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う <input type="radio"/>
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) <input type="radio"/>		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(1階)	自己評価(2階)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念「すべての人に健康という幸せを提供しつづける」を毎月のカンファレンスで唱和して確認している。	法人理念「すべての人に健康という幸せを提供しつづける」を毎月のカンファレンスで唱和して確認している。	法人理念を毎月のカンファレンスで確認、お互いに理解を深めている。また、一人ひとりに状況に応じた支援に取り組み、生活の場づくりを行っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	夏祭りを行い、ポスターを掲示したり、地域の方への声掛けを行っている。区長交代などでは公民館に挨拶に行っている。	夏祭りを行い、ポスターを掲示したり、地域の方への声掛けを行っている。区長交代などでは公民館に挨拶に行っている。	区長等へは挨拶を行い、散歩の際等には声掛けを行っている。夏祭りは定例化してきており、地域住民との関わりの場やホームの取り組みを知ってもらう機会として交流を深めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	法人では勉強会などをおこなっているが、施設独自の勉強会などはできていない	法人では勉強会などをおこなっているが、施設独自の勉強会などはできていない		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、その意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1度会議を行っている。11月の会議では「防犯」について話し合い、家族の意見を取りまとめ、玄関にカメラの設置ができた。	2カ月に1度会議を行っている。11月の会議では「防犯」について話し合い、家族の意見を取りまとめ、玄関にカメラの設置ができた。	会議では、行政や家族から意見があり、職員間で共有しサービス向上につなげている。また、会議内で家族に向けた講座を行い、ホームでの取り組み等を共有している。	地域での行事等との関係で、区長等の会議への出席が難しい状況にあるが、今後も積極的な働きかけと会議参加が可能となる工夫について期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	GH協議会の参加、書類提出は訪問し手渡しを行っている。	GH協議会の参加、書類提出は訪問し手渡しを行っている。	GH協議会等において、市担当者や他GHと連携を図っている。またホーム内での取り組みについて、研修会の講師依頼がある等、日頃より協力関係が築けている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設玄関は夜間のみ施錠。1月に玄関、裏でいりぐちに防犯カメラを設置した。4点柵の身体拘束はなし	施設玄関は夜間のみ施錠。1月に玄関、裏でいりぐちに防犯カメラを設置した。4点柵の身体拘束はなし	勉強会を開催する等し理解を深めている。またスタッフ間で拘束防止のためのアイデアを共有して、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	在宅センター全体で、勉強会を開催して講師を招いている。	在宅センター全体で、勉強会を開催して講師を招いている。		

自己	外部	項目	自己評価(1階)	自己評価(2階)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	地域包括センターに依頼して勉強会を開催している	地域包括センターに依頼して勉強会を開催している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は時間をとっていただき、全文の読み上げを行っている	契約時は時間をとっていただき、全文の読み上げを行っている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営会議でご家族の意見をいただけるようにしている。	運営会議でご家族の意見をいただけるようにしている。	毎月のお便りや面会時に入居者の様子をお知らせし、家族等と意見交換を行っている。また、行事等でも積極的に家族と関わり、要望等を運営に反映している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンスで意見交換を行っている。レクリエーション費の変更や食費の変更など	カンファレンスで意見交換を行っている。レクリエーション費の変更や食費の変更など	毎月のカンファレンス時や事前にスタッフが意見を言える環境をつくっている。また、個別に提案を聴く機会を設け、運営に反映できるよう努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に2回、個人面談を行っている。それ以外にも個人の悩み事なども聞きコミュニケーションを深めている	年に2回、個人面談を行っている。それ以外にも個人の悩み事なども聞きコミュニケーションを深めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会を確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	院内、院外での研修を参加を促している。院内はネットで研修を視聴できる	院内、院外での研修を参加を促している。院内はネットで研修を視聴できる		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者はGH協議会には参加できているが、スタッフの他の施設へ出向くこともなく、連携はできていない	管理者はGH協議会には参加できているが、スタッフの他の施設へ出向くこともなく、連携はできていない		

自己	外部	項目	自己評価(1階)	自己評価(2階)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居当初は、本人の言動を観察し、本当に今必要な援助は何かを探り、ご家族にも説明を行っている	入居当初は、本人の言動を観察し、本当に今必要な援助は何かを探り、ご家族にも説明を行っている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設入居でご家族の不安や要望を聞きケアに反映するようにしている	施設入居でご家族の不安や要望を聞きケアに反映するようにしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居以前の情報にこだわらずに今のADLにあった介護に努めている。	入居以前の情報にこだわらずに今のADLにあった介護に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物を一緒に干したり、畳んだりする。掃除もできることは一緒にしている	洗濯物を一緒に干したり、畳んだりする。掃除もできることは一緒にしている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には状態の報告を行い、施設での様子を伝え安心できるようにしている	面会時には状態の報告を行い、施設での様子を伝え安心できるようにしている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の面会や同僚の面会があるが、その他の交流はない	ご家族の面会や同僚の面会があるが、その他の交流はない	本人や面会者が負担のないように配慮し、スタッフが一緒になって交流ができる場づくりを行っている。花見等の季節に応じた場所を訪問し、馴染みの関係性が継続できる支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者にも好き嫌いがあるので、食事の席替えなどを行い、不要なトラブルが起こらないようにしている	利用者にも好き嫌いがあるので、食事の席替えなどを行い、不要なトラブルが起こらないようにしている		

自己	外部	項目	自己評価(1階)	自己評価(2階)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了時は、死亡退去でありその後はつながりはなくなっている	契約終了時は、死亡退去でありその後はつながりはなくなっている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプラン変更は定期的に行っているが、身体的に症状が出現では柔軟に変更している	ケアプラン変更は定期的に行っているが、身体的に症状が出現では柔軟に変更している	本人の意向が把握できるよう一人ひとりに応じた工夫を行っている。家族とも暮らし方の希望等を共有しながら、本人の尊厳を大切にされた対応を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族に写真などをもってきて部屋に飾ったりする。子供さんがケアパーソンの場合、若いころのことはわからないことが多い	ご家族に写真などをもってきて部屋に飾ったりする。子供さんがケアパーソンの場合、若いころのことはわからないことが多い		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	食事、トイレなど自力でできることはできるだけ自立を目指す。が、認知症の症状の悪化などを観察し言動に気を付けている	食事、トイレなど自力でできることはできるだけ自立を目指す。が、認知症の症状の悪化などを観察し言動に気を付けている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネージャーを中心に観察や介助のポイントを把握し、スタッフの意見も反映している	ケアマネージャーを中心に観察や介助のポイントを把握し、スタッフの意見も反映している	ケアマネージャーや担当スタッフが連携し、医師の訪問時や家族から意見を集約し、介護計画を作成している。本人の状況を踏まえた目標期間を定め、定期的に状況確認と見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人の記録は個人差があるので、記録についてはありのままを記録するように指導している	個人の記録は個人差があるので、記録についてはありのままを記録するように指導している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	誕生日など、本人の希望やご家族の意見を取り入れ同じ内容ではない。体調も考慮している	誕生日など、本人の希望やご家族の意見を取り入れ同じ内容ではない。体調も考慮している		

自己	外部	項目	自己評価(1階)	自己評価(2階)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事にはボランティアさんを選んで余興を提供していただいている	行事にはボランティアさんを選んで余興を提供していただいている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	在総診で定期的に医師・看護師の訪問がる。急変などにはご家族の意見も反映し必要な検査なども行い、医師からも説明を行ってもらっている	在総診で定期的に医師・看護師の訪問がる。急変などにはご家族の意見も反映し必要な検査なども行い、医師からも説明を行ってもらっている	かかりつけ医については入居時に説明し、納得の得られた医療を受けられるようにしている。家族の協力も得ながら他科受診をする等、医療機関や家族との連携体制を築いている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	状態の観察を行い、変化がある場合は担当医に連絡をいれ、指示をもらっている	状態の観察を行い、変化がある場合は担当医に連絡をいれ、指示をもらっている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	今村病院に入院の場合は毎日面会に行き声をかけている。スタッフにも状態を聞き早期退院をお願いしている	今村病院に入院の場合は毎日面会に行き声をかけている。スタッフにも状態を聞き早期退院をお願いしている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居当時に急変の可能性を伝えて、「看取り」を行うことを説明し、今後起こりうる終末期の変化をご家族に説明をし、必要に応じて医師からの説明を受けていただいている	入居当時に急変の可能性を伝えて、「看取り」を行うことを説明し、今後起こりうる終末期の変化をご家族に説明をし、必要に応じて医師からの説明を受けていただいている	入居時に看取りの方針について説明し、同意書を準備している。状態変化の際はその都度連絡を行い、段階的に家族へ心の準備等を促している。スタッフ間でも看取りの重要性も共有し、チームで支援できるように取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	心肺蘇生法を年に一度、消防署を呼び、研修を行っている。	心肺蘇生法を年に一度、消防署を呼び、研修を行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の火災避難訓練、消火器訓練を行っている。大規模災害では病院が避難場所、非常食の提供をお願いしている	年に2回の火災避難訓練、消火器訓練を行っている。大規模災害では病院が避難場所、非常食の提供をお願いしている	年2回の訓練は消防署の指示の下、取り組んでいる。併設医療機関とは事前に連携し、災害時の支援が受けられるようにしている。また普段よりコンセントの埃等、火災防止策を行っている。	地域の方へ呼びかけを行っているが参加が少ないため、イベント等の機会を利用して、地域の方との防災に関する協力体制を築けるように期待したい。

自己	外部	項目	自己評価(1階)	自己評価(2階)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	特にトイレや入浴など声掛けに注意している。	特にトイレや入浴など声掛けに注意している。	接遇やプライバシーに関する研修会を実施し、スタッフの意識を向上させる機会を作っている。また、入居者のおかれている状況に合わせた言葉かけや対応に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	うろろうして落ち着かない時などは庭を一周したりして気分転換を図っている	うろろうして落ち着かない時などは庭を一周したりして気分転換を図っている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	決まったレクリエーションがあるのではなく、その日の雰囲気や折り紙や風船バレーなどしているが、無理強いはしない	決まったレクリエーションがあるのではなく、その日の雰囲気や折り紙や風船バレーなどしているが、無理強いはしない		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節がわからなくなって、衣服の選択をまちがっていることもあるので、さりげなく更衣を促している	季節がわからなくなって、衣服の選択をまちがっていることもあるので、さりげなく更衣を促している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が最大の楽しみであるので、スムーズに食事できるように食事形態を合わせている。	食事が最大の楽しみであるので、スムーズに食事できるように食事形態を合わせている。	入居者が食事を準備する音やにおいを感じたり、行事食を取り入れ、食事を楽しむことができるように工夫している。また、嚥下の状態に応じた食事の提供を行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分制限がある方がおり、過多にならないように注意している	水分量は大体一日決まっており、食事以外の時間でも必要や要望に応じている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを行っている。ケアを行いながら、問題がある場合は歯科受診をしている	毎食後の口腔ケアを行っている。ケアを行いながら、問題がある場合は歯科受診をしている		

自己	外部	項目	自己評価(1階)	自己評価(2階)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	できるだけ、トイレでの排泄にこだわった介護をしている。	できるだけ、トイレでの排泄にこだわった介護をしている。	トイレで排泄ができるよう、チェック表を活用した声かけや本人の状態に合わせた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ミネラル水を導入して、できるだけ食事や水分で排泄できるようにしている	ミネラル水を導入して、できるだけ食事や水分で排泄できるようにしている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入る順番を気にする方がいるので、考慮している	午前、午後と分けている。体調や感染症などに気を付けている	本人の体調や状態に合わせた入浴ができる工夫を行っている。また、ゆず風呂等で入浴が楽しめるよう取り組んでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	眠剤は使わずに自然に任せている。			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	本人に必要なものであるかを状態を観察し、不必要な場合は医師へ報告し、指示を仰いでいる	本人に必要なものであるかを状態を観察し、不必要な場合は医師へ報告し、指示を仰いでいる		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	男性入居者が多く、手作業などはあまり参加されない。	おやつづくりなどを時々行っている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族の援助で外出する程度。	ご家族の援助で外出する程度。	入居者の体調や状況に合わせた外出支援を行っている。また、家族の協力で外泊をしたり、近所を散歩したりしている。	

自己	外部	項目	自己評価(1階)	自己評価(2階)	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ホームではお金をもたせてはいない	ホームではお金をもたせてはいない		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	時折、電話してなどの要望があるときには、ご家族に電話をしている	時折、電話してなどの要望があるときには、ご家族に電話をしている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具に配置など気を付ける。匂いには空気清浄機を設置している	家具に配置など気を付ける。匂いには空気清浄機を設置している	共有空間では音やにおいに気をつけ、テレビを消す時間があったり、空気清浄機を設置している。また、季節感を採り入れた飾りつけをし、居心地よく過ごせるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファでゆっくり過ごせるようにしているが、仲が悪い方が近くにならないようにしている	ソファでゆっくり過ごせるようにしているが、仲が悪い方が近くにならないようにしている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族に協力していただき、ダンスなどの持ち込みをお願いしている	家族に協力していただき、ダンスなどの持ち込みをお願いしている	ご位牌や家族の写真など、一人ひとりが馴染みのある物を居室に置けるようにしている。また、家具は本人や家族に相談して配置している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	フロアを自由にできるように椅子など邪魔にならないようにしている	フロアを自由にできるように椅子など邪魔にならないようにしている		